

わけぎの研修制度

“尾道わけぎ産地新規就農支援協議会 新規就農研修”概要



広島県のわけぎは生産量日本一を誇り、尾道市、三原市で全国シェアの4割を占めています。しかし、近年は高齢化、過疎化の進展により、生産量の減退が続いています。この状況を打破し、産地の活性化を図るため、農家自らが関係機関に呼び掛け新規就農者を育成する組織を結成し、全国から農業を目指す人材を募集し、次代の産地を担う人材育成に取り組むことを決意しました。温暖で風光明媚な瀬戸内海で私たちと一緒にわけぎ産地を盛り上げていただければと思っています。



わけぎ栽培ほ場



わけぎ出荷調整作業



わけぎ定植作業



トマト収穫作業



トマト農作業体験



尾道わけぎ産地新規就農支援協議会メンバー

対象者要件	(1) 農業に夢を持って、前向きに取り組むことのできる方 (2) 18才～50才未満(就農時)の方で、家族等複数で農業経営ができる方。 (3) 研修終了後、尾道市わけぎ産地で就農できる方。(農地は斡旋します) (4) 研修開始から就農まで約1年間の生活資金が準備できる方。
対象作物	わけぎ+半促成トマト
露地・施設	ハウス15a(トマト、わけぎ)、露地35a(わけぎ)
開催時期・期間	9月から翌年8月まで1年間、就農に必要な座学研修(作物生理、病虫害、土壌肥料、農薬等の基礎講座、わけぎ、トマトの栽培技術、経営研修等)とわけぎ産地新規就農支援協議会のメンバーのほ場で実習研修を実施します。
研修場所	座学研修: J A尾道市経済事業本部会議室(尾道市東尾道13-1) 全農ひろしま広島営農技術センター(東広島市河内町入野11631-13) J A広島ビル(広島市中区大手町4丁目7-3) 実習研修: 尾道市向島町岩子島のほ場
受講料等	受講料は無料ですが、研修場所までの交通手段の確保、交通費、損害賠償保険等の保険料は研修生の負担となります。また、選択科目の農業機械研修は実費負担が必要です

研修カリキュラム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
必修	わけぎ													
	【座学】 営農基礎研修								農業経営、販売、補助事業、農作業安全、農業機械などの基礎的な知識養成（JA広島中央会主催）					
	【座学】学科 カリキュラム							野菜栽培の基礎、土壌、肥料、病害虫、農薬、わけぎの生理生態、栽培技術、病害虫防除等わけぎ栽培に必要な基礎知識と経営管理能力を養うための講義						
	【実践】 農家実習研修		農家のほ場において、実際の農作業を実践するとともに、						作業の効率性や、意義、作業効率等、就農に必要な実践技術の習得をめざします。					
	【座学】 営農基礎研修								農業経営、販売、補助事業、農作業安全、農業機械などの基礎的な知識養成（JA広島中央会主催）					
	【座学】学科 カリキュラム								トマトの生理生態、栽培技術、病害虫防除、などトマト栽培に必要な基礎知識と経営管理能力を養うための講義					
トマト	【実践】 農家実習研修		農家のほ場において、実際の農作業を実践するとともに、						作業の効率性や、意義、作業効率等、就農に必要な実践技術の習得をめざします。					
共通	【座学】 経営企画作成		新規就農時を想定した営農計画、経営計画の作成。											
選択	【実践】 農業機械研修			大型農業機械の運転免許取得、保守点検方法を習得。（希望者のみ）										

【 お問い合わせ 】

尾道市農業協同組合 営農販売課

〒722 - 0051 広島県尾道市東尾道13-1

TEL 0848 - 20-2811